

令和6年1月15日

和田区地域協議会

会長 有坂 正一 様

上越市長 中 川 幹 太  
(文化行政課)



上越妙高駅周辺の活性化に向けた釜蓋遺跡公園の活用について (回答)

令和5年12月20日付けで提出のあった意見書について、下記のとおり回答いたします。

記

1 市内の小・中学校による遺跡見学の誘致について

市内の小・中学校に対しましては、パンフレットの送付や校長会での説明、小・中学生向けの歴史講座の案内などにより釜蓋遺跡の魅力を発信しており、今後もこの取組を継続してまいります。

また、スクールバスのない小・中学校に対しましては、学校からは移動時間の確保なども大きな課題であるとの意見もいただいたことから、現在、市職員が学校に出向き、釜蓋遺跡の魅力を発信する出前授業を行っております。今後も本事業を継続するとともに、学校との意見交換を行い、より良い内容となるよう努めてまいります。

なお、市外の小・中学校に対しましては、現在、釜蓋遺跡に近い妙高市の一部の小学校へ遺跡見学の誘致や遺跡まつりなどのイベントの紹介を行っておりますが、今後は、北陸新幹線の敦賀延伸を期に、当市が歴史文化を通じた交流を行っている自治体（越前市、小松市、金沢市、七尾市、高岡市、佐渡市及び飯山市）へも情報発信を行ってまいります。

2 上越妙高駅西口「光のテラス」への釜蓋遺跡案内看板等の設置について

現在、上越妙高駅観光案内所前に案内看板を常設し、駅利用者への周知を図っておりますが、今後は、関係課と協議のうえ「光のテラス」への案内看板等の設置について検討してまいります。

3 釜蓋遺跡公園の土地の有効活用について

現在、公園として整備されている範囲は、釜蓋遺跡の一部であることから、遺跡の全体像が明らかになった段階で、次期公園整備について検討する必要があると考えております。

このため、当面は、これまでの発掘調査の成果に基づき、竪穴建物跡などを花の植栽により表示することなどを検討しておりますが、維持管理の面で課題があることから、地域や関係者の皆さまと十分に協議を行い、できることから順次実施してまいります。

